

日本 NPO 学会 2020 年度臨時総会 議事録

開催概要

日時：2020 年 11 月 20 日（金）19:01～19:25

場所：日本 NPO 学会事務局

〒770-8502 徳島県徳島市南常三島町 1-1 徳島大学総合科学部公共政策学研究室

開催方法：上記の事務局を拠点に、WEB 会議ツール「Zoom」(<https://zoom.us/>)を利用した開催

出席会員数：45 名

議案・配布資料

- ・別添の議事次第および配布資料を参照（いずれも電子データでの配布）

1. 総会の成立、進行、出席者の確認

- ・総会の成立の確認

会則第 12 条の定めにより、総会が成立していることが確認された。

- ・議長

会則第 13 条の定めにより、石田祐会長が議長を務めることが確認された。

- ・議事録署名人の選出

会則第 15 条に基づき、議事録署名人として、粉川一郎会員、菊池遼会員が選出された。

2. 審議事項の経過と結果

(1) 第 1 号議案：会則改正案について

三木組織運営委員会委員長より、会則改正案の説明が行われた（第 1 号議案資料 1 及び第 1 号議案資料 2）。総会の招集方法に関する第 11 条および第 12 条、議事録作成に関する第 15 条、理事会開催に関する第 24 条、その他文言の修正に関する第 19 条、第 20 条、第 27 条、第 30 条、を改正したい旨、提案がなされた。

質疑等

- ・電磁的方法には FAX は入っていないという理解でよいか。

⇒（三木委員長）

一般的には FAX は入らない。理事会で別途細則を定める際に定義に入れることは可能。

- ・学会の SNS は含まれるのか。個人的にはメールに絞った方がいいのではないかなと思う。

⇒（三木委員長）

理事会で別途細則を定める際に定義に入れることは可能。ただし、ご意見にありますように、電子メールが現実的な方法になるかと思う。

承認事項

審議の結果、第 1 号議案は原案通り承認された。

(2) 第 2 号議案：会員細則改正案について

三木組織運営委員会委員長より、会員細則改正案の説明が行われた（第 2 号議案資料）。賛助会員会費額に関する第 4 条の改正、及び賛助会員の獲得・維持に関する第 3 条（5）を追加したい旨、提案がなされた。

質疑等

なし

承認事項

審議の結果、第 2 号議案は原案通り承認された。

3. 報告事項の経過と結果

(1) 第 23 回研究大会について

粉川大会運営委員会委員長より、第 23 回研究大会について報告があった（報告 1 資料）。第 23 回大会は東北大学にて 2021 年 6 月 19 日～20 日に開催されること、大会実行委員会委員長に東北大学の西出優子会員が就任されたこと、について説明があった。

西出大会実行委員会委員長及び岡田実行委員長より、大会運営規程に制定に基づき大会運営委員会・実行委員会・企画委員会の 3 つの委員会による新しい体制で実施される予定であることについて説明があった。

質疑等

- ・新しい大会運営規程は、開催校の負担を減らすこと、また、全国的な学会状況を反映した企画内容をつくること、という 2 つのねらいがあって策定された。今後、小さな大学や会員数が少ない地域でも開催できるよう皆様にもご検討いただければと思う。

(2) 日本 NPO 学会第 11 期理事会委員会委員の選任について

石田会長より、第 11 期理事会の委員会委員について報告が行われた（報告 2 資料）。5 つの常設委員会が設置され委員の委嘱が行われたこと、特別委員会として災害等対応委員会に委員の委嘱が行われたこと、について説明があった。

質疑等

- ・資料の委員名に理事とついている場合とついていない場合がある。また、2 回登場する方もいる。

⇒（石田会長）

- ・議事録作成の段階できちんと修正したい。

(3) 理事会声明について

石田会長より、理事会声明について報告が行われた（報告 3 資料）。第 25 期日本学術会議新規会員任命拒否に対して、学会理事会名義で 2020 年 10 月 5 日に声明を発表したことについて説明があった。

質疑等

なし

(4) セミナー開催について

岡田学術研究委員会委員長より、セミナーを企画していることについて報告が行われた（報告 4 資料）。学会として、オンラインでのセミナーを企画していること、コロナ禍をテーマとして検討していること、などについて説明があった。

質疑等

- ・企画が運営チームにて検討されることになっているが、できれば会員からの提案やニーズを汲んだ企画を検討していただければと思う。
- ・第 22 回年次大会でいくつかコロナ関連のセッションが確定しているので、資料に記載されている大会での企画例を差し替えていただきたい。
- ・学会事務局の過度の負担にならないよう、ウェビナーの実施体制・方法についても配慮された方がいいのでは。
- ・もしウェビナーを公募するのであれば、どのくらいの費用をかけられるのか、明示し

た方が応募はしやすいと思う。

- ・なかなか参加できない時があるので、オンラインセミナー等のアーカイブ化も検討していただきたい。
- ・セミナー等のレコーディングについては、参加者の同意を得る必要があるため、その点をどうクリアするかが今後の課題になると思う。

(5) 学会誌の編集・発行について

石田会長より、学会誌の編集・発行体制について報告が行われた（報告 5 資料）。第 10 期理事会編集委員会の業務であるノンプロフィット・レビュー（Vol.20/No.2）の発行について、引き続き第 10 期理事会編集委員会委員に業務に従事をしていただくため、委員の委嘱を行ったことについて説明があった。

質疑等

なし

(6) 学会誌発行体制について

石田会長より、会員の入退会について報告が行われた（報告 6 資料）。2020 年 5 月 8 日から 2020 年 10 月 1 日の期間における新規入会者は 8 名であること、同 10 月 1 日現在の会員数は、正会員 628 名、賛助会員 1 団体、であること、について説明があった。

質疑等

なし

(7) その他

石田会長より、第 22 回年次大会の大会参加申込受付に利用した WEB サイト「Peatix」において、不正アクセスが発生し情報流出が発生したこと、また、NPO 学会関係者への被害状況について確認していること、について報告があった。

議長

石 田 祐 印

議事録署名人

粉 川 一 郎 印

菊 池 遼 印
